

名取市で活動する市民活動団体が継続して活動できるように応援することで、名取市がさらに住みやすい地域になることを目指し、昨年の3月、NPO法人パートナーシップなとりを設立。まもなく2年目を迎えるにあたり、代表理事の阿留多伎真人さんと副代表理事兼事務局長の洞口のり子さんに、この1年の活動とこれからの抱負を伺いました。

昨年の5月に法人設立を記念して市民活動団体の交流イベントを開催。その後は、気軽に市民が市民活動団体を知る市民活動支援講座を隔月、開催してきました。講師は、いずれもパートナーシップなとりの理事の面々です。

第1回は、『分野を超えて子育てを考える』をテーマに、名取市で子育て支援活動に取り組んでいるNPO法人子育て応援団ひよこ理事長の齋藤勇介さんが、市民活動団体が分野を超えてどのように子育てに関われるかを取り上げて交流の場を持ちました。

第2回は、『地産地消と食糧事情』をテーマに、名取で野菜を生産し個人宅配しながら地産地消に取り組んでいる産直ネットワークなとりの代表、洞口のり子さんが、農産物を取り巻く環境について話し、後半は新鮮な食材を参加者とともに戴きました。

第3回は、『高齢者や障がいのある方にやさしいホームページ』と題して、NPO法人イー・エルダー東北支部の武藤正勝さんが、HPを作る際の思いやりの視点について、既存の様々なホームページの特徴や改善点などを教えていただきました。

年が明けての第4回は、『知らないと損する労働基準法』をテーマに、社会保険労務士の鈴木孝幸さんが雇用に関する細かな仕組みを話しました。知っているつもりで、知らなかった給与計算の仕方なども楽しく教えていただきました。

そして第5回に当たる3月は、名取市が主催するパネルトーク『子育てもコミュニティづくりもみ

んなで』に、代表理事の阿留多伎真人さんがコーディネーターとして協力することになりました。パネ



代表理事の阿留多伎さん

ラーには、石巻市で子育て中のママを支援する荒木裕美さんと大崎市でまちづくりやコミュニティづくりのサポートをしている小玉順子さんをお迎えしました。

阿留多伎さんは、尚絅学院大学生生活環境学科の教授で、都市計画やまちづくりが専門です。一方で、以前から名取市の中心市街地を活性化しようと活動するリバイブ名取21の中心メンバーとしても活躍しています。毎年、発光ダイオード(LED)のピカボードで様々な作品を飾る「光のストリートアート展」を実施し、昨年末は、「妖怪ウォッチ」や「アナと雪の女王」のキャラクターなどが登場しました。パートナーシップなとりが2年目を迎えるにあたり、阿留多伎さんは「名取市の市民活動団体をもっと活発に活動を続けていけるように、市民団体を巻き込み、行政と協働しながら、名取市がより住みやすい地域にしていく力になりたい」と抱負を語りました。

また副代表理事の洞口さんも、「市民活動に限らず自治会や組合などいろんな団体があるので、その



副代表理事の洞口さん

団体同士を繋げていきたい。活動していく中で、団体が何か困ったときに、パートナーシップなとりに行けばいいと思ってもらえるようになりたい」と話しました。

名取市に初めてできた市民活動団体の支援組織『パートナーシップなとり』の今後に期待します。

NPO法人パートナーシップなとり

〒981-1232 名取市大手町5丁目6-1
市民活動支援センターLC内
TEL : 090-5848-3264 (洞口)
URL : <http://ps-natori.org/>